

関西初公開！

東京の秘仏

特別公開

秘仏

深大寺

元三大師坐像

— 日本最大の肖像彫刻 —

2025年

1.15[水] → 3.16[日]

奈良国立博物館

なら仏像館 第8室

休館日◆毎週月曜日、2月25日(火)(※2月24日(月・祝)、3月3日(月)、10日(月)は開館)

開館時間◆午前9時30分～午後5時 ※3月1日～11日・13日・14日は午後6時まで 3月12日は午後7時まで ※入館は閉館の30分前まで

特別公開

秘仏 深大寺 元三大師坐像

— 日本最大の肖像彫刻 —

東京都指定有形文化財 元三大師坐像

(指定名称: 木造慈恵大師坐像)

木造 彩色
像高196.8cm
鎌倉時代 13~14世紀
東京・深大寺

寄木造の坐像。

開いた目に大ぶりの鼻や口、
頬骨の秀でた顔立ちは精悍で
生々しく、他の元三大師像に
見るような定型化された
容貌とは異なる優れた
出来映えを示す。

作者・伝来は不明であるが、
元三大師が厄除けの役割が
あることから、鎌倉時代の
蒙古襲来(元寇)以降に
異国退散を祈願して
作られた可能性が指摘される。

令和4年度から東京都の
補助金、公益財団法人
朝日新聞文化財団の
助成金等を受けて
本格修理が
実施された。



東京都調布市の深大寺は、奈良時代の天平5年(733)開創と伝える古刹です。この深大寺の元三大師堂には、坐像で高さ2メートル近くもある元三大師こと慈恵大師良源(912~985)の肖像彫刻が安置されています。良源は、平安時代中期に天台座主として活躍した高僧です。その命日が元月(1月)の3日だったことから「元三大師」と称されました。後に神格化され、外敵や飢饉、疫病を退ける厄除けに力を発するとして、その肖像がまつられるようになりました。他に例を見ない巨大な姿と生々しく精悍な顔立ちは日本の肖像彫刻の中でも、特異な存在として注目されます。

この深大寺の元三大師像は「厄除け大師」として信仰され、50年に一度しか開扉されない秘仏として、多くの人の目に触れる機会がありませんでしたが、このたび奈良国立博物館の文化財保存修理所にて本格修理を実施し、その修理完了を記念して、東京以外では初めての特別公開を行うはこびとなりました。日本最大の肖像彫刻の、迫力ある姿をこの機会に是非とも間近でご覧下さい。

関西初公開!

観覧料金	一般	大学生
	700円	350円

※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳またはミライROID(スマートフォン向け障害者手帳アプリ)をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。※高校生以下および18歳未満の方と一緒に観覧される場合、子ども1名につき、同伴者2名まで一般100円引き、大学生50円引きです(親子割引)。※この観覧料金で、同時開催の名品展「珠玉の仏たち」「古代中国青銅器(坂本コレクション)」、2月8日から開催の特別陳列「お水取り」・名品展「珠玉の仏教美術」をご覧いただけます。

同時開催 なら仏像館 ▶ 特別公開「金峯山寺仁王門 金剛力士立像」 名品展「珠玉の仏たち」
青銅器館 ▶ 名品展「古代中国青銅器(坂本コレクション)」



奈良国立博物館

〒630-8213 奈良市登大路町50番地(奈良公園内)
ハローダイヤル 050-5542-8600
NARA NATIONAL MUSEUM <https://www.narahaku.go.jp/>

交通案内 近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車すぐ